



屋外(内)用 ブースター (家庭用)

VU・BC BOOSTER
 増幅チャンネル FM・ch1～62・BS・CS
VUBCB33N

UHF・BC BOOSTER
 増幅チャンネル ch13～62・BS・CS
 FM・VHF ミキサー内蔵
UBCB33N



F型端子 33dB型



各種デジタル放送を、より高画質で見るために、妨害電波の影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。



EU(欧州連合)での電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に適した機器に、マスプロ電工が表示しているマークです。

VUBCB33N

FM・VHF・UHF帯域とBS・CS帯域を増幅します。
UHFは地上デジタル放送に対応した高出力設計です。

高性能・高信頼

余裕のある高出力

UHFは、アナログ7波+デジタル9波で103dBμ*の高い出力レベルが得られますから、伝送波数の多い地域で使用しても、障害のないきれいな画像を受信できます。また、地上デジタル放送移行期のUHF多チャンネル受信にも対応できます。

※デジタル波の信号レベルが、アナログ波より10dB低い場合。

優れたシールド性能 (特許出願中)

増幅部、電源部とも高周波部分を金属ケースでシールドし、入・出力端子は、F型コネクタを使用していますから、外来電波による妨害を防ぐことができます。

優れた機能

VU混合・別入力両用

VU混合入力・別入力の切換えができますから、ミキサー内蔵アンテナやVUミキサーを使用した、VU混合入力のときでも使用できます。

FM・VHF作動スイッチ (VUBCB33N)

FM・VHF作動スイッチによって、FM・VHFの増幅をOFFにできますから、地上デジタル放送だけを受信するシステムになったときや、地上アナログ放送が終了したときに、消費電力を抑えることができます。



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらなかったり、下がったりすることがありますが、ブースターの不具合ではありません。
「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、受信CN比の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。

2655MHz 対応

取扱説明書

BS・110°CSデジタル放送対応



VUBCB33N
増幅部：屋外(内)用



VUBCB33N
電源部(WP6)：屋内用
(屋外では使用しないでください。)

UBCB33N

UHF帯域とBS・CS帯域を増幅します。
UHFは地上デジタル放送に対応した高出力設計です。
FM・VHF帯域は通過します。

電源保護回路

増幅部と電源部の間でショートしても、電源保護回路によって、電源部を保護します。

トラッキング防止構造

電源部のACプラグの刃は、根元が難燃性の樹脂でコーティングしてありますから、トラッキング現象が起これにくくなっています。

異常お知らせ機能 (特許出願中)

増幅部と電源部の間でショートしたり、断線したりした場合、電源部作動表示灯の色でお知らせします。

スマートに設置できる電源部 (特許出願中)

電源部は縦置きで、コンパクトですから、テレビのサイドスペースにも、すっきりと設置できます。

マルチメディアの
MASPRO
＝マスプロ電工＝

各部の名称と機能

増幅部

ご注意

- 利得調整を操作するときは、調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと、こわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると、こわれることがあります。

FMカットスイッチ

(UBCB33Nにはありません)

- FM電波が強く、受信障害が出る場合、「FMカット」にします。
- 出荷時は「FM増幅」になっています。

FM電波が弱い
地域の場合



FM電波が強い
地域の場合



フタの開閉について

- フタを開けるときは、フタ固定ビスをゆるめてから、手前に引上げてください。
- フタを閉めたあとは、必ず手で、フタ固定ビスをしっかりと締付けてください。

フタ固定ビス

フタ

入力レベル調整スイッチ

(UBCB33Nに、FM・V_L、V_Hは
ありません。)

FM・V_L (ch1~3)

V_H (ch4~12)

UHF (ch13~62)

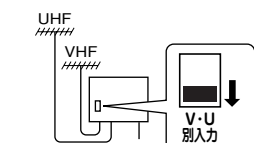
BS・CS

- 入力レベルが低い場合、「0dB」にします。
- 出荷時は「 $\ominus 10\text{dB}$ 」になっています。

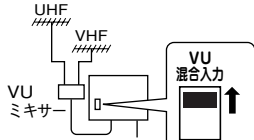
VU入力切換スイッチ

- VHF・UHFの別入力、混合入力を切換えます。
- 出荷時は「V・U別入力」になっています。

V・U別入力の場合



VU混合入力の場合



携帯カットスイッチ

- 携帯電話の基地局が近く、携帯電話の電波によって、受信障害が出る場合、「ON」にします。
- 出荷時は「OFF」になっています。



携帯電話で受信障害を受けている画面

携帯電話の基地局が近くにある地域の場合



携帯電話の基地局が近くにない地域の場合



電源(増幅部作動表示灯)

増幅部の作動時に「緑」に点灯します。

FM・VHF作動スイッチ

UBCB33Nには
ありません。

- FM・VHFを受信しない場合、「OFF」にします。
- 出荷時は「ON」になっています。

FM・VHFを受信する場合



FM・VHFを受信しない場合



利得調整

UBCB33Nに、FM・V_L、V_Hは
ありません。

FM・V_L (ch1~3)

V_H (ch4~12)

UHF (ch13~62)

BS・CS

- 利得を0~ $\ominus 10\text{dB}$ 連続して調整できます。
- レベルチェッカーなどを使用して、定格出力レベルを超えないように調整してください。
- UHFは、伝送波数によって、定格出力レベルが異なります。伝送波数が増えた場合、出力レベルを再調整してください。

帯域	波数	定格出力レベル
UHF	2波 (アナログ)	111dB μ
	7波 (アナログ)	103dB μ *
	9波 (デジタル)	

* デジタル波の信号レベルが、アナログ波より10dB低い場合。

- 出荷時は「MIN.」になっています。

A VHF入力端子

- VHFアンテナからのケーブルを接続します。
- VU混合入力のときは付属の防水キャップ(小)を取付けてください。

B VU混合入力端子またはUHF入力端子

VU混合入力のケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します。

C BS・CS入力端子

BS・110°CSアンテナからのケーブルを接続します。

D 出力端子(DC15V受電端子)

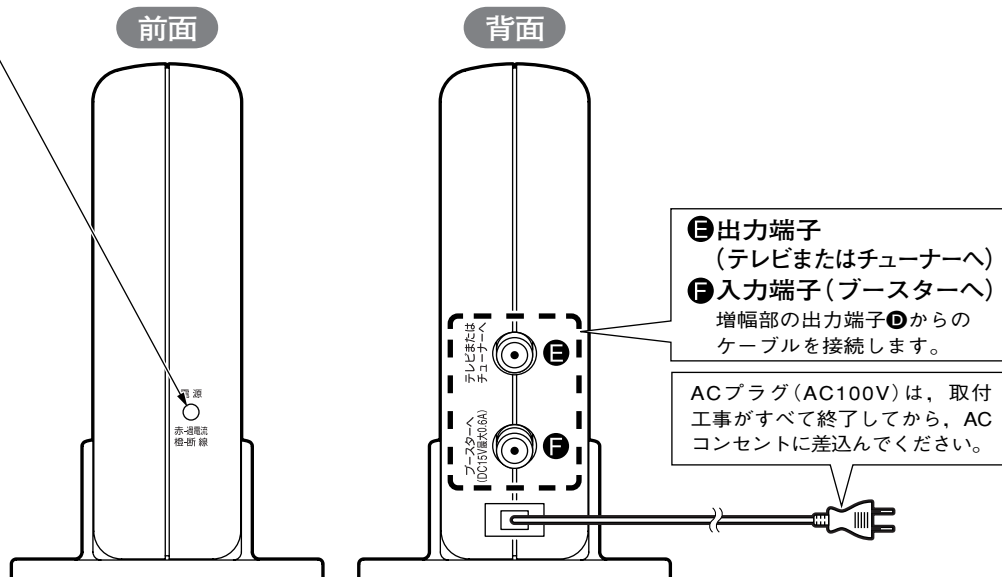
電源部の入力端子Eからのケーブルを接続します。

電源部

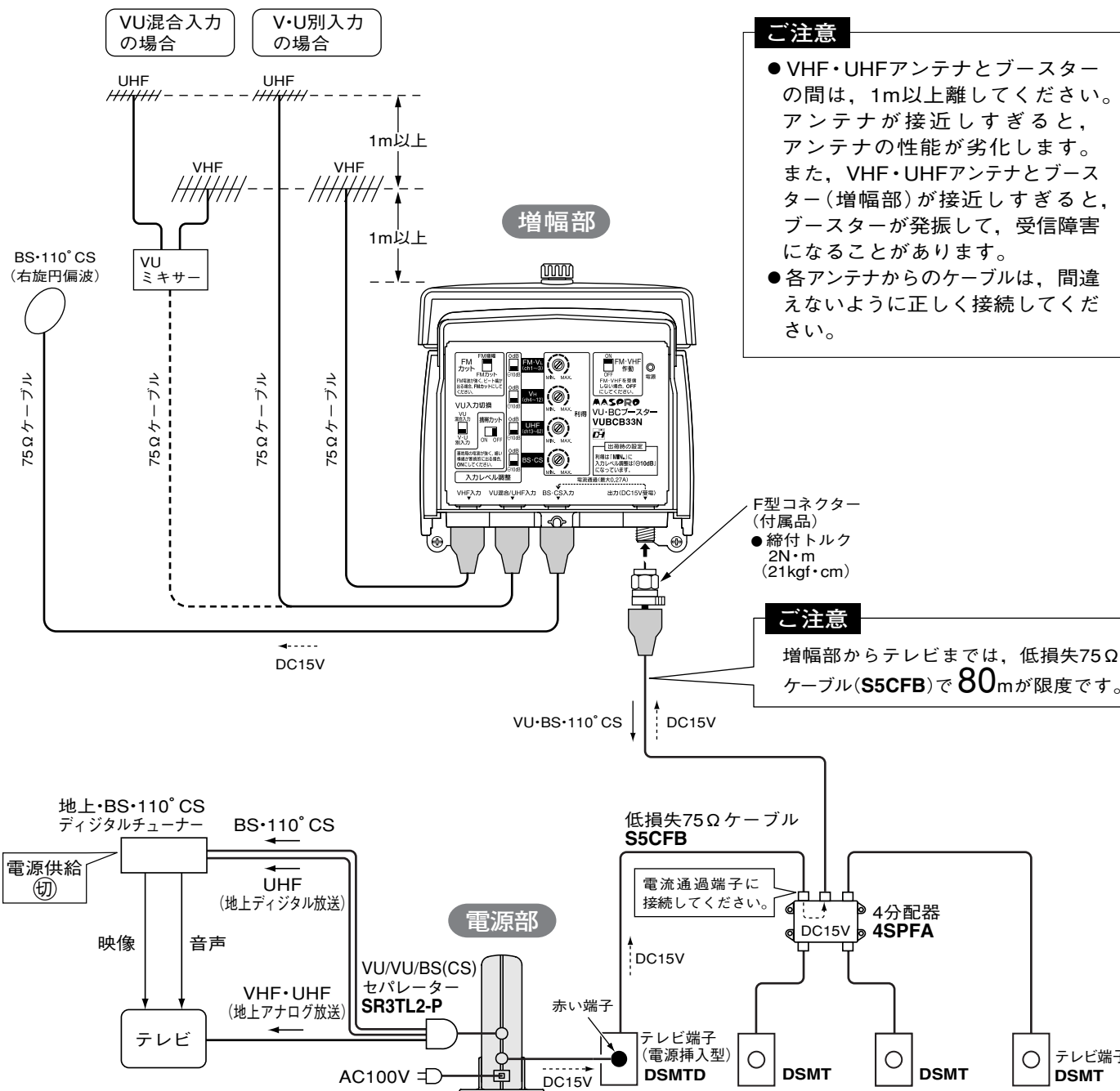
●ACプラグをACコンセントに
差込んだときに、電源部の
作動状態を表示灯の色で
お知らせします。

表示灯	作動状態
緑	正常
赤 (過電流)	異常
橙 (断線)	異常 (テレビは見られません)
無灯 (ショート)	

●p.5「電源部作動表示灯について」をご覧ください。



接続例 (4端子の場合)



設置方法

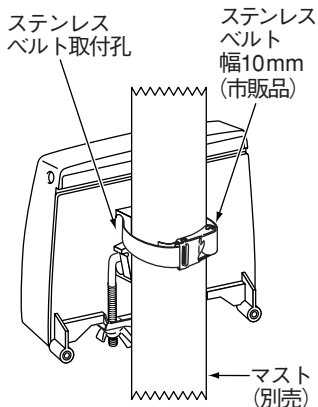
増幅部

●マスト

アンテナマストに、図のように取付けてください。

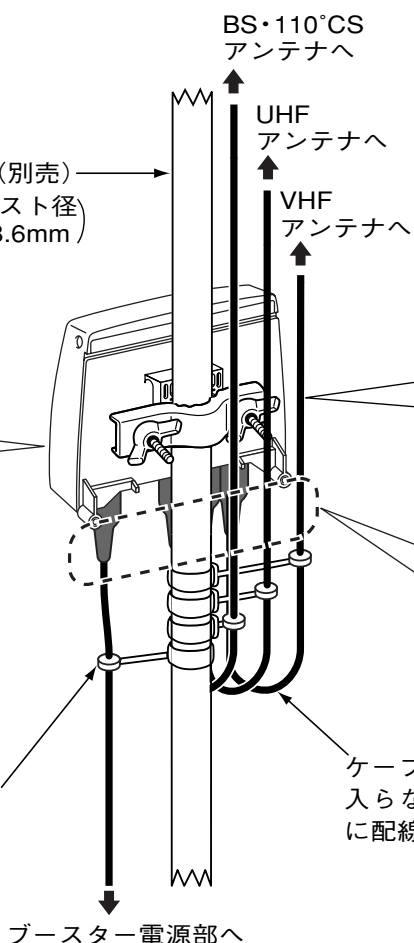
適合マスト以外のときは

市販のステンレスベルトを使用して取付けられます。

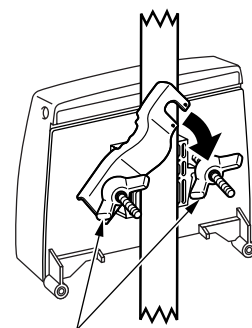


ケーブルの固定には、別売の支柱スタンドオフを使用してください。

マスト (別売)
(適合マスト径
22~48.6mm)



マストへの取付け



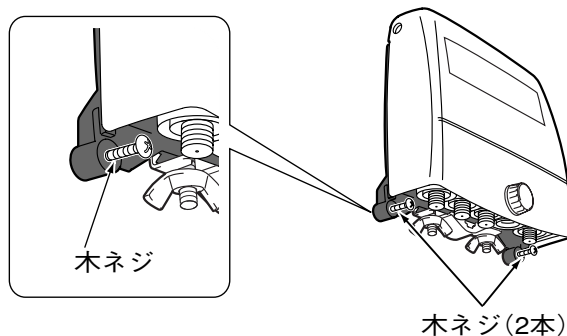
蝶ナット(2個)をしっかりと締付けてください。

入力と出力のケーブルは、束ねたり、ブースター(増幅部)に巻付けたりしないでください。

ケーブルをつたって雨水がケースに入らないように、ケーブルをU字形に配線してください。

●板壁面

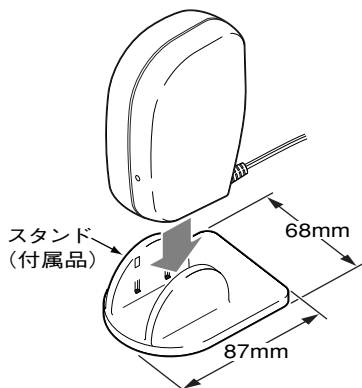
増幅部についている木ネジ(2本)で、板壁面に固定してください。



電源部

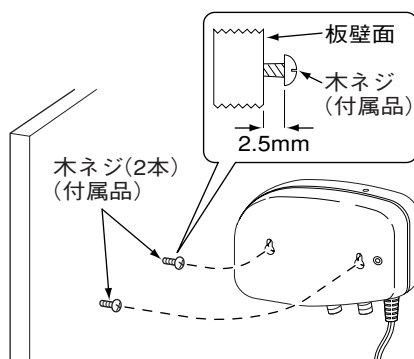
●据置き

付属のスタンドを取付けてください。



●板壁面

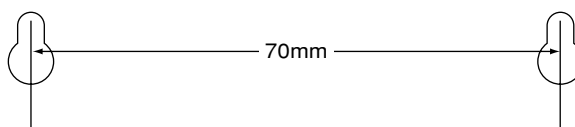
付属の木ネジ(2本)で、板壁面に固定してください。



ご注意

- 電源部をAMラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオと電源部を離してお使いください。
- 電源部は、温度上昇を防ぐため、風通しのよい場所に設置してください。また、長期間ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。

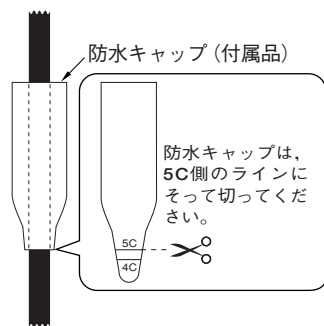
電源部の壁面取付寸法(原寸)



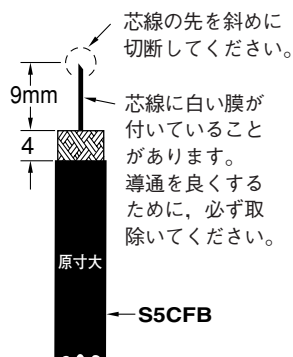
付属のF型コネクタは5Cケーブル用です

BS・CS用低損失75Ωケーブル**S5CFB**をお使いください。

① ケーブルを、付属の防水キャップに通してください。

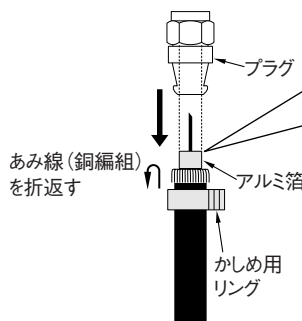


② ケーブルの加工



③ プラグの取付け

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。



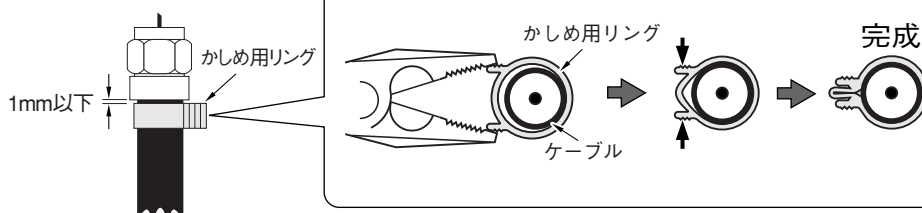
アルミ箔がはがれる場合

プラグの内側にアルミ箔が入るようにアルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、ていねいに押込んでください。

アルミ箔の切れ端は必ず取除いてください。

④ かしめ用リングをペンチで圧着

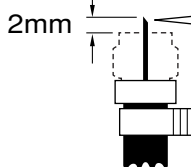
プラグが抜けないようにプラグの根元で、しっかりと圧着してください。



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。

完成図



芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



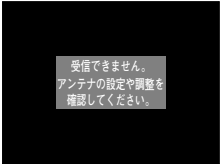
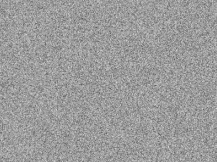
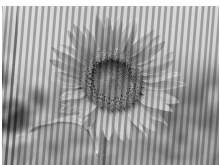
電源部作動表示灯について

ACプラグをACコンセントに差込んだときに、電源部が正常に作動しているか、電源部作動表示灯の色で確認できます。

電源部作動表示灯	原因	処置
緑		正常
赤 (過電流) ※	出力電流が規格値(0.6A)を超えている。	増幅部, BS・110°CSアンテナ以外に電源が供給される機器が接続されて、過電流になっていないか確認してください。
橙 (断線)	電源が供給されていない。	●F型コネクタの芯線が短くないか確認してください。 ●増幅部と電源部の間でケーブルが断線していないか確認してください。
無灯 (ショート)	電源が供給されていない。	●F型コネクタの芯線にあみ線(銅編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。 ●増幅部と電源部の間でケーブルがショートしていないか確認してください。

※テレビに画像は出ますが、正常な受信状態で作動していません。

きれいなテレビが見られないときは

症状	原因	処置
画像が出ない  UHF・BS・110°CS(デジタル放送)  VHF・UHF・BS(アナログ放送) UHF・BS・110°CS(デジタル放送)で画面に表示されるメッセージは、一例です。	ケーブル・コネクタの取付け・接続方法が間違っている。	●ケーブルが、入・出力端子に正しく接続してあることを確認してください。
	VU入力切換スイッチが正しく操作されていない。(VHF・UHFのとき)	●VU入力切換スイッチが、正しく操作してあるか確認してください。
	電源が供給されていない。	●増幅部・電源部の作動表示灯は「緑」に点灯していますか。 (増幅部の出力端子⑩または電源部の入力端子⑨がショートしていると電源保護回路が作動して、作動表示灯が消えます。ACプラグをACコンセントから抜いて、原因を取除き、再度、ACコンセントに差込んでください。 ●増幅部の出力端子⑩に、DC15Vが供給されているか確認してください。 (出力端子⑩に接続するケーブルのF型コネクタにテスター)を接続して確認できます。 ●F型コネクタの芯線が短かったり、芯線にあみ線(銅編組)やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。 ●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。
画像にモザイク状のノイズが出ている  UHF(地上デジタル放送)	UHFアンテナからの入力レベルが低い。	●UHFの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし、UHFの利得調整ツマミを(右)へゆっくり回してください。
	UHFアンテナからの入力レベルが高い。	●UHFの入力レベル調整スイッチを「-10dB」にし、UHFの利得調整が「MIN.」でないときは、利得調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。 ご注意 UHF(地上アナログ放送)の入力レベルは、必ず実用入力レベルを超えないように設定してください。実用入力レベルを超えて使用すると、UHF(地上デジタル放送)の画面にモザイク状のノイズが出ることがあります。
画像にスノー(ザラザラ)ノイズが出ている  VHF・UHF(地上アナログ放送)	VU入力切換スイッチが正しく操作されていない。	●VU入力切換スイッチが、正しく操作してあるか確認してください。
	VHFまたはUHFアンテナからの入力レベルが低い。	●VHFに症状が出る場合、FM・VLまたはVHの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし、FM・VLまたはVHの利得調整ツマミを(右)へゆっくり回してください。(VUBCB33N) ●UHFに症状が出る場合、UHFの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし、UHFの利得調整ツマミを(右)へゆっくり回してください。
画像にビート縞が出ている  VHF・UHF(地上アナログ放送) 画像にワイパー現象が出ている  VHF・UHF(地上アナログ放送)	FM電波が強い。	●ch1～3の画面に障害が出るときは、FMカットスイッチを「FMカット」へ切換えてください。(VUBCB33N)
	VHFまたはUHFアンテナからの入力レベルが高い。	●VHFに症状が出る場合、FM・VLまたはVHの入力レベル調整スイッチを「-10dB」にし、FM・VLまたはVHの利得調整が「MIN.」でないときは、利得調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。(VUBCB33N) ●UHFに症状が出る場合、UHFの入力レベル調整スイッチを「-10dB」にし、UHFの利得調整が「MIN.」でないときは、利得調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。
	他の電波と混信している。(ビート縞のとき)	●画質が最も良くなるように、VHFまたはUHFのアンテナの方向を調整してください。

症状	原因	処置
画像にモザイク状のノイズが出ている  BS・110°CS(デジタル放送) 画像にスパークリー(めだか状)ノイズが出ている  BS(アナログ放送)	BS・110°CSアンテナの方向がずれている。	●BS・110°CSアンテナの方向がずれていないか確認してください。ずれているときは、画像を見ながら、ノイズが最も少なくなるようにBS・110°CSアンテナの方向を再調整してください。
	近くにレーダー基地または空港がある。	●近くにレーダー基地や空港があるときは、BS・110°CSアンテナをレーダーなどの電波ビームから外れる低い位置か、建物の陰など、妨害の影響を受けない場所に移動してください。
	BS・110°CSアンテナからの入力レベルが低い。	●BS・CSの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし、BS・CSの利得調整ツマミを(右)へゆっくり回してください。 ●BS・110°CSアンテナからのケーブルをできるだけ短くしてください。
	BS・110°CSアンテナからの入力レベルが高い。 (モザイク状のノイズのとき)	●BS・CSの入力レベル調整スイッチを「 $\ominus 10\text{dB}$ 」にし、BS・CSの利得調整が「MIN.」でないときは、利得調整ツマミを(左)へゆっくり回してください。

ブースターは、正しくお使いください

ブースターは、正しく取付けないと、ブースターが発振して、ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。

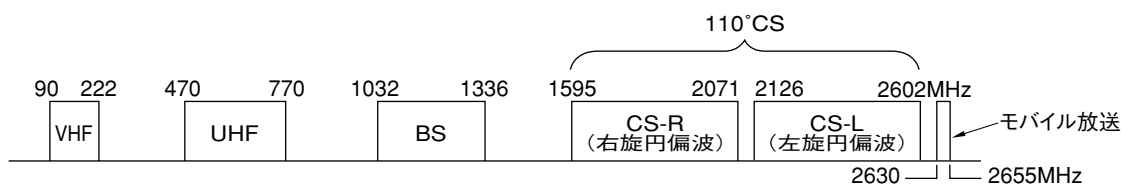
- 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書にしたがって、正しく接続してください。
- 入力と出力のケーブルは、束ねたりブースター(増幅部)に巻付けたりしないでください。
- アンテナマストに取付ける場合、VHF・UHFアンテナとブースター(増幅部)との間隔を1m以上離してください。

2600MHz広帯域伝送

マスプロ電工では、2600MHz対応の製品をシリーズ化しています。これらの製品を使用すれば、ホーム共同受信システムの機器を変更せずに、110°CS左旋の新しいサービス(予定)やモバイル放送まで受信できます。

2600MHz広帯域伝送とは

- VHF・UHFとBSに加え、110°CSの右旋偏波と左旋偏波の信号が同時に伝送できる方式です。
- 110°CSは、BS帯域より高い周波数を使用します。
110°CSの右旋・左旋の信号を伝送するためには、2602MHzまでの周波数帯域が必要です。(下図、参照)



注：CS-Lの周波数は変更されることがあります。

規格表

VUBCB33N 増幅部

項目	規格			
伝送周波数帯域	76~108MHz (FM・ch1~3)	170~222MHz (ch4~12)	470~770MHz (ch13~62)	1032~2655MHz (BS・CS)
利得	20~25dB	25~31dB	26~35dB	26~35dB
利得偏差(P/V)	3dB以内	3dB以内	5dB以内	6dB以内
入力レベル調整	0,⊖10dB切換	0,⊖10dB切換	0,⊖10dB切換	0,⊖10dB切換
利得調整範囲	0~⊖10dB以上 (連続可変)	0~⊖10dB以上 (連続可変)	0~⊖10dB以上 (連続可変)	0~⊖10dB以上 (連続可変)
雑音指数	3.5dB以下	3dB以下	3dB以下	5dB以下
実用入力レベル	35.5(がまん限※1)~ 80dBμ(100dBμ※2)	35(がまん限※1)~ 74dBμ(94dBμ※2)	35(がまん限※1)~ 76dBμ(96dBμ※2)※3	45~68dBμ(88dBμ※2)
定格出力レベル	105dBμ(2波)	105dBμ(5波)	111dBμ※3 103dBμ※4	103dBμ(24波)
混変調/相互変調	⊖46dB以下/⊖53dB以下		⊖46dB以下※3/⊖68dB以下※4	
VSWR	3以下			2.5以下
入・出力インピーダンス	75Ω(F型コネクタ)			
電源	DC15V 0.2A (FM・VHF作動スイッチ「OFF」のとき : 0.15A) (BS・110°CSアンテナ給電時 : 0.47A)			
使用温度範囲	⊖20~⊕40℃			
外観寸法/質量(重量)	135(H)×148(W)×60(D)mm/約450g			
シンボル				

- ※1 実用入力レベルの最小値(がまん限)は、地上アナログ放送受信で実用になる限界です。
(スノーノイズを完全に除去できません)
※2 利得調整を「MIN.」(利得調整を(左)へいっばいに回した状態)にし、入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にしたときの、最大の実用入力レベルです。
※3 アナログ2波の値です。
※4 アナログ7波+デジタル9波の値です。(デジタル波の信号レベルが、アナログ波より10dB低い場合)
※5 2信号3次ひずみの値です。

UBCB33N 増幅部

項目	規格		
伝送周波数帯域	76~222MHz (FM・ch1~12)	470~770MHz (ch13~62)	1032~2655MHz (BS・CS)
利得	—	26~35dB	26~35dB
通過帯域損失	1.5dB以下	—	—
利得偏差(P/V)	—	5dB以内	6dB以内
入力レベル調整	—	0,⊖10dB切換	0,⊖10dB切換
利得調整範囲	—	0~⊖10dB以上 (連続可変)	0~⊖10dB以上 (連続可変)
雑音指数	—	3dB以下	5dB以下
実用入力レベル	—	35(がまん限※1)~ 76dBμ(96dBμ※2)※3	45~68dBμ(88dBμ※2)
定格出力レベル	—	111dBμ※3 103dBμ※4	103dBμ(24波)
混変調/相互変調	—	⊖46dB以下※3/⊖68dB以下※4	
VSWR	3以下		2.5以下
入・出力インピーダンス	75Ω(F型コネクタ)		
電源	DC15V 0.15A (BS・110°CSアンテナ給電時: 0.42A)		
使用温度範囲	⊖20~⊕40℃		
外観寸法/質量(重量)	135(H)×148(W)×60(D)mm/約440g		
シンボル			

- ※1 実用入力レベルの最小値(がまん限)は、地上アナログ放送受信で実用になる限界です。
(スノーノイズを完全に除去できません)
※2 利得調整を「MIN.」(利得調整を(左)へいっばいに回した状態)にし、入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にしたときの、最大の実用入力レベルです。
※3 アナログ2波の値です。
※4 アナログ7波+デジタル9波の値です。(デジタル波の信号レベルが、アナログ波より10dB低い場合)
※5 2信号3次ひずみの値です。

AASPRO

電源部 (WP6)

AASPRO

項目	規格
1次電圧	AC100V 50・60Hz
消費電力	5.3W (BS・110°CSアンテナ給電時: 10W)
直流出力電圧(電流)	DC15V(最大 0.6A)
入・出力インピーダンス	75Ω(F型コネクタ)
挿入損失	2 dB以下(76~1336MHz) 2.5dB以下(1336~2655MHz)
使用温度範囲	0~⊕40℃
外観寸法	130(H)×68(W)×99(D)mm (スタンド含む)
質量(重量)	約260g(スタンド含む)

付属品

F型コネクタ(5Cケーブル用)…………… 6個
防水キャップ(大)…………… 4個
防水キャップ(小, VHF入力端子用)…………… 1個
スタンド(電源部据置設置用)…………… 1個
木ネジ(3×15mm, 電源部壁面取付用)… 2本

AASPRO

電源部 (WP6)

AASPRO

項目	規格
1次電圧	AC100V 50・60Hz
消費電力	4.4W (BS・110°CSアンテナ給電時: 9W)
直流出力電圧(電流)	DC15V(最大 0.6A)
入・出力インピーダンス	75Ω(F型コネクタ)
挿入損失	2 dB以下(76~1336MHz) 2.5dB以下(1336~2655MHz)
使用温度範囲	0~⊕40℃
外観寸法	130(H)×68(W)×99(D)mm (スタンド含む)
質量(重量)	約260g(スタンド含む)

付属品

F型コネクタ(5Cケーブル用)…………… 6個
防水キャップ(大)…………… 4個
防水キャップ(小, VHF入力端子用)…………… 1個
スタンド(電源部据置設置用)…………… 1個
木ネジ(3×15mm, 電源部壁面取付用)… 2本

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
保証します。

特 許 第2572981号
登録意匠 第 859595号

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
= 電気 =

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
技術相談 TEL名古屋(052) 805-3366
当社営業日 9~12時, 13~17時
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所	
沖 縄	(098) 854-2768
鹿児島	(099) 812-1200
宮 崎	(0985) 25-3877
熊 本	(096) 381-7626
長 崎	(095) 864-6001
福岡(支)	(092) 551-1711
北九州	(093) 941-4026
下 関	(0832) 55-1130
広 島	(082) 230-2351
松 江	(0852) 21-5341
岡 山	(086) 252-5800
松 山	(089) 973-5656
高 知	(088) 882-0991
高 松	(087) 865-3666
姫 路	(079) 234-6669
神 戸	(078) 231-6111
大 阪(支)	(06) 6635-2222
京 都	(075) 646-3800
津	(059) 234-0261
岐 阜	(058) 275-0805
名古屋(支)	(052) 802-2233

豊 橋	(0532) 33-1500	前 橋	(027) 263-3767
静 岡	(054) 283-2220	水 戸	(029) 248-3870
松 本	(0263) 57-4625	宇都宮	(028) 660-5008
福 井	(0776) 23-8153	郡 山	(024) 952-0095
金 沢	(076) 249-5301	仙 台	(022) 786-5060
新 潟	(025) 287-3155	盛 岡	(019) 641-1500
横 浜	(045) 784-1422	秋 田	(018) 862-7523
渋谷(支)	(03) 3409-5505	青 森	(017) 742-4227
青 戸	(03) 3695-1811	札 幌	(011) 782-0711
八王子	(042) 637-1699	釧 路	(0154) 23-8466
千 葉	(043) 232-5335	旭 川	(0166) 25-3111
さいたま	(048) 663-8000	北 見	(0157) 36-6606